

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回茨木市環境審議会
開催日時	令和6年5月21日(火) (午前) 午後) 10時00分 開会 (午前) 午後) 11時30分 閉会
開催場所	茨木市役所南館3階防災会議室
議長	岩渕 善美
出席者	岩渕 善美、大岩 賢悟、金谷 健、狩野 尚美、小林 春菜、田中 耕司、野田 宏明、前迫 ゆり、山田 俊一【9人】
欠席者	泉本 幸男、久米 辰雄、諏訪 亜紀【3人】
傍聴人	3人
事務局職員	下藺産業環境部長、村上資源循環課長、 高橋環境政策課長、角野環境政策課課長代理兼指導係長、 小河環境政策課政策係長、山下環境政策課推進係長、 佐伯環境政策課検査係長、福里環境政策課主査【8人】
開催形態	公開
議題（案件）	(1) (仮称) 第3次茨木市環境基本計画の策定について
配布資料	(1) 次期環境基本計画の策定に向けた検討 (2) 茨木市の現況 (3) アンケートの集計・分析結果 (4) 令和5年度版いばらきの環境（本編及び資料編）

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	・ 開会 ・ 委員紹介 ・ 審議会成立の確認 本日の会議の成立について報告する。 本日の出席状況は、委員 12 名のうち 9 名の出席をいただいております、茨木市環境審議会規則第 3 条第 2 項により本会は成立している。
	・ 審議会会長の互選 会長は茨木市環境審議会規則第 2 条第 1 項の規定により、委員の皆さまの互選により定めることになっているので、ご協議をお願いします。
	田中委員 事務局で何か考えはあるのか。 事務局 これまでの審議会の経緯を把握している委員に就任していただくことが一つの方法と考えており、これまで本審議会の会長をしていただいていた岩淵委員にお願いするのはどうか。 ＜異議なし＞
事務局	委員の互選により、岩淵委員が会長に決定した。 以降は茨木市環境審議会規則第 3 条第 1 項の規定により、岩淵会長に議長をお願いします。 ・ 審議会副会長の互選
会長	副会長も規則により互選で定めることとなっている。 私からの提案で、前迫委員にお願いしたいと思うが、何かご意見はないか。 ＜異議なし＞
会長	異議がないようなので、副会長は前迫委員にお願いします。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	・ 公開・非公開の確認
会長	次に、会議の公開について、事務局から説明を願いたい。
事務局	本市の審議会等について、「審議会等の会議の公開に関する指針」により原則公開としている。なお、会議において非公開とすべき事案が出た場合、その都度、審議会で決定することとなる。
会長	事務局の説明のとおり、本審議会の会議は原則公開ということを了承いただきたい。
	<異議なし>
会長	それでは、会議は公開とする。会議録の取り扱いについて事務局より説明を願いたい。
事務局	公開される会議は、同様に会議録も公開となる。また、発言する委員の名前は、原則掲載することとなっている。なお、発言内容は要点筆記の形で作成する。 今回、皆さまに配布している資料は、後日、市のホームページで会議録とともに公開する。 次に、傍聴における資料公開について説明する。会議の開催にあたり、傍聴の受付をホームページで周知した。事前申込をいただき、傍聴をされる方に資料を配布している。本日の傍聴は、3名である。
	・ 諮問
会長	続いて、本審議会で議案を審議するにあたり、茨木市から本審議会に諮問を受ける。
	<諮問書読み上げ>
会長	諮問を受けたので、議題に入る。
	・ 議題(1)について

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	議題(1)、「次期環境基本計画の策定に向けた検討」について、事務局より説明を願いたい。
事務局	「次期環境基本計画の策定に向けた検討」の資料1-12まで説明
会長	事務局より、資料1-12までの説明があった。 ひとまずここまでの範囲について意見交換を進めたい。
大岩委員	総合計画の内容が分からない。第6次茨木市総合計画は何年計画で、どのタイミングで見直しているのか。
事務局	資料の方は、ボリュームが大きいのでHPでご確認いただきたい。 大きな目標である基本構想は10年設定となっており、その中の基本計画は5年ごとに見直すこととなっている。冊子等にはなっていないが、実施計画として、5年間の事業内容を記載したものを毎年改訂してHPに載せている。 総合計画の見直しは、環境基本計画と同じ令和7年3月である。
大岩委員	令和6年度に、総合計画と環境基本計画の整合性を取っていきながら見直すということか。総合計画の見直し内容は適宜こちらに伝えてもらえるのか。
事務局	令和6年度に、5回の環境審議会で整合性を取りながら見直す。環境基本計画の審議に必要だと判断したものについては検討中の総合計画の内容提示も検討させていただく。
会長	図書室など、資料を閲覧できる場所はあるのか。
事務局	市役所の一階の情報ルームに資料を設置している。あとは、図書館などにも置いている。
会長	続いて、次期計画の概要について事務局より説明を願いたい。
事務局	「次期環境基本計画の策定に向けた検討」の資料1-13～最後まで説明
会長	事務局より、茨木市の現況やアンケート結果、環境目標の案について説明があった。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	11 時までの 15 分程度の意見交換の時間としたい。また、意見交換時間内に言いそびれた意見等があれば、会議終了後、事務局まで電子メール等にて送付することでお受けいたしたいが、そのような進捗で良いか。 ＜異議なし＞
会長	それでは、意見交換をお願いしたい。
金谷委員	資料 1-36 について、基本政策 4 つの優先順位を決める必要はないと考える。基本政策 4 つについては同じ重要度として考え、それぞれの基本政策の中の目標について優先順位を決めるという論理構成がいいと思う。 また、資料 1-34 の環境指標の達成状況について。環境指標は物差しであって、達成できているかどうかは目標がないと分からない。前回の計画では、資料 2 を見ると環境指標ありと書いてあっても目標がある項目は少ない。だからそもそも達成率が高い低いということは言えない。例えば低炭素と資源循環は達成状況の判断が困難であったとあるが、そもそも指標があるだけで目標がないので達成状況が判断できないのではないかな。 計画なので達成状況を評価することは大事だと思う。すべての項目ではないにしても、指標があって目標としての数値があるのが望ましい。それが結果としての数値であったり、手段としての数値であったりも有り得ると思う。例えば参加人数など。そういったものを決めないと、計画の進行管理は出来ないと思う。前回の計画策定時には色々な事情があったかもしれないが、今回の計画では指標と目標値を決めたほうがメリハリは付くと思う。
事務局	基本政策の 4 つの順位付けについては、記載する順番についてのみの話であり、どれも重要な政策なので差をつけるといった意味ではない。 目標については、今回の計画ではできるものは数値の設定を検討したいと考えている。
山田委員	2015 年にパリ協定が結ばれて 10 年が経ち、先進国、発展途上国も含めて新しい技術が導入され、脱炭素に向かっている。一方で、日本では火力発電が主流となっており、脱炭素が進んでいない。国の再生可能エネルギーの推進、茨木市の温暖化対策実行計画の推進、どちらも進んで

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
前迫委員	いない。カーボンニュートラルにおいて 2050 年までに実質 0 にすると 言っているが、日本としても、茨木市としても本当に達成することがで きるのか。 例え目標達成ができなくても、少なくとも 2100 年まで続けられる方 針が出しにくいとは思いますが、茨木市独自で構わないので、「茨木市はこ のような形でやっていく」という方向性を、次回の計画には盛り込んで いただきたい。 市からの目標への提案がないので議論が発展しない。2050 年のカー ボンニュートラル、ネイチャーポジティブなど、自然を基盤にして社会 を構築していこうという世界的なトレンドは明確になっている。SDGs が 2030 年に終了したあとも続いていく計画なので、アンケート結果、 今後の世界的トレンドから、何を目指すのかという大きな目標を最初に 提案して欲しい。 基本計画を作ってからそれに合わせて部局が動いたのでは間に合わない。 部局としては、茨木市としてはこのような動きにもっていききたい、 だから基本計画はこのような方向性を目指したいといった提案がほし い。 それと、数値目標がないというのはとても問題。例えば、森林の伐採 や間伐の量、生物多様性では貴重種や外来種の目指す種数、緑被率など 具体的目標を決めたい。茨木市は都市と山地で環境の違いが大きい が、駅前など都市部ではもっと緑地がほしいと思う。生活環境・自然環境と 分かれているが、地球温暖化や生物多様性は繋がっており、総合的に考 えていかないといけない問題なので、議論の方向性がよく分からない部 分がある。茨木市としての次の 10 年の大きい方向性を出してほしい。 コロナ禍を経て社会情勢も大きく変わったので、今までのマイナー修正 では済まないと思う。
事務局	今回は骨子案作成のための意見をいただき、次回、世界的な動向など を取り入れた形で骨子案を提示させていただく。我々では判断が難しい ところは議論していただきながら進めたい。
会長	生物多様性の認知度が低く、認知度を上げる必要があるというアン ケート結果などを踏まえ、次期の計画に反映できる形で何か審議できれ ばと考えている。それも踏まえて委員の方々に意見をお願いしたい。
金谷委員	確認したいことがある。4つの政策の優先順位について、基本政策を

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
田中委員	書くときの１、２、３、４の順番のことについて言っているのか。例えば、子供の勉強の教科で国語・算数・理科・社会と言われたとする。全て重要であり、最初に言われたものが一番重要だとは私は思わない。環境基本計画の中にも順番が重要だとどこにも書いてない。政策の優先順位と言ってしまうと、予算が絡んでしまうと思う。優先順位という言い方はやめて、記載の順番と訂正した方がいい。 順位については茨木市が戦略的にものごとを考えると一つの指標になるのかということをお聞きしたい。茨木市として、この政策が達成できれば自動的にこの政策も上手くいくというようなことが見えてから順位を付ける、といった政策展開をしていきたいと考えているのかと感じたので、そこを確認したい。
事務局	近年大きく取り上げられている事柄は、事業として取り上げることが求められている。政策はどれも重要であるが、記載の順番と、新規事業として優先するものを先頭に記載するということはどうしても連動する。先頭においた政策だから重要度が最も高いとは考えていない。
小林委員	市の方が一生懸命考えられているプランについて、どこまで市民が自分事と思って受け止めているのかが気になる。住民と直に触れあう機会が多く、住民が自分の街に問題を感じ、アクションを自分たちで起こしていくといった民間の力を間近で感じることもある。アンケートよりも、専門的な知識をもった方や市民と繋がりを深めていただき、直接の意見を大事にしていきたい。 小さな疑問を吸い上げていくためのコメントの集め方を考えてほしい。若い世代だとインターネットでの意見集めが適していると思う。わざわざHPにアクセスしてではなく、ここにあるのでいつでも意見下さいといった、つい関わりたくなるような仕掛けがあれば、集まるコメントも変わってくるのではないかな。 この計画がどのように自分たちの生活に反映されていき、どこが良くなるのかといったイメージができれば、もっと関わる人も増えると思う。
事務局	おっしゃられた事は非常に大事だと感じている。ただ、どのような形で意見を伺えばいいのか、その機会をどのようにして作るのかが非常に難しい。 昨年度から事業者同士の話し合いの場をつくるといった取り組みを始

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
野田委員	めている。市民の方にもそういった場に一緒に参加していただいて、どのような取り組みをされているのかを伺うことも考えたい。 他の委員の意見と重複するが、なぜ（目標を）数値化しなかったのかという疑問がある。環境像があり、方策、対策、手段と落とし込んでいくときに、目標を数値化しておいた方が対策を具現化できる。そこで初めて予算を組める。それが出来上がった時に、結果を市民がどう感じるかもある。メリットもあれば予期せぬデメリットもあるが、何か数値目標を立てて進めていく方がよりいいと感じた。
会長	この審議会はそういったところも含めて審議をさせてもらう。今後審議できる範囲で、事務局にも協力してもらいながら、市民に分かりやすい形で提示していきたいと思う。
狩野委員	小林委員が言われたように、気軽に市民の意見を吸い上げるようなことができたらいいい。市もいろんな課があると思うので、吸い上げられそうな課と手を取り合っていただけるとうれしい。
山田委員	小林委員から市民の方の意見箱みたいなものがあればいいといった話があったが、今はネットの時代なのでYouTubeを活用するのはどうか。これは時間が取れるときに見て、その情報に対してコメントを発信できる。例えば、YouTubeで基本計画の概要を説明し、意見を募るといったパブリックコメントの取り方をすると、若い方の意見を集めやすいのではないか。市の行政内容については扱うのが難しいかと思うが、期間を限定して行い、若い方の行政への参加の出発点になればいいと思う。
会長	予定の時間になったため、追加の意見等については、電子メールにて事務局までいただきたい。 その他、資料4-1、4-2について事務局より説明を願いたい。
事務局	資料4-1、4-2について説明
会長	次回以降も資料4-1、4-2を参考にして審議を進めていくこととする。 環境基本計画については、次回以降も継続して審議することとする。次回の審議会の予定について、事務局より説明を願いたい。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	次回の審議会の予定について説明
会長	本日の会議は以上としたい。 これをもって、令和6年度第1回茨木市環境審議会を閉会する。 ・ 閉会 以上